

YUMETRY Vol. 21

◇懐かしい顔と新たな顔

◇記事内容

農業班：果樹園が始まります
 豊科店：ライバル店に勝つために！！
 有明店：新作パンが好評
 外販部：新たなお客様を！ミーティングも！！
 DTP班：お客様が増えて…

夢トライ通信 6月号

発行日：2015年6月13日
 発行：NPO法人 夢トライ
 所在地：〒390-0805
 松本市清水2-11-45
 電話：0263-35-3530
 F A X：0263-35-3547
 メール：npo@yumetry.com
 U R L：http://yumetry.com/npo

◇コラム：青い鳥症候群

懐かしい顔に再会

花村 純



産まれたばかりの千紗ちゃん

去る4月22日(水)。私は有明のパン屋さん豊科店の仕事でした。朝のドタバタがひと段落し昼休憩している、職員の島津くんが満面の笑みで携帯片手に近づいて来ました。実は、退職された滝沢さんに4月21日、待望の女の子が産まれたのです。落ちていた次の日に、写真付きで島津くん・小島さん・花村に、わざわざメールしてくれました。名前は千紗(ちさ)ちゃん。

メールを頂いて直ぐに夢トライに電話。伊藤さん含め職員・スタッフ皆で大喜びだった様です。「落ち着いたら、娘を連れて夢トライに行きます。」と滝沢さん。「お母さんになった滝沢さん、千紗ちゃんにも早く会いたいなあ」と伊藤さん。会える時をずっと楽しみにしていました。そして…



慣れた手つきの小島さん



緊張気味な島津さん

小島さん・滝沢さんの噂を知ったNくんも、Hさんからのプレゼントを持って豊科から駆けつけお出迎え。いつもの様子で「こんにちあ」と入ってきた滝沢さん。その腕には千紗ちゃんが抱かれています。皆で「ちつちゅい」二人の登場で一気に夢トライが明るい雰囲気になりました。千紗ちゃんは本当に小さく、お人形さんのよう。しかし手足は力強く動かし生きていて凄いと実感しました。「ぜひ抱っこしてください！」と滝沢さんに笑顔で言われて逃げる伊藤さん。島津くん・青木さんは抱いたものの動けず。

小島さんは、さすが女の子。本能発揮でした。退職前と変わらない滝沢さん。しかし千紗ちゃんに話しかける滝沢さんは、お母さんの顔でした。



すっかりお母さん顔の滝沢さん

もう一つエピソードがあります。5月23日(土)、突然ある方からのメール。「近くで用事があったので豊科に来ました!!」退職された古山さんからの連絡でした。「これから夢トライへ向かいます。」私も急いで夢トライへ車を走らせました。夢トライに到着すると、髪が伸びた古山さんが笑顔で立って居ました。伊藤さんも採られたイチゴを片手に畑から駆けつけました。

今回は、お母さんと泊りで軽井沢に遊びに来たことと、遠回りして寄ってくれました。新しい仕事で毎日跳び回っている様で大変な様ですが、元気に頑張っているとの

こと。安心しました。仕事のこと、家族のこと、夢トライの短い時間でしたが、皆が笑顔になった時間でした。



イチゴを持ってピースの古山さん

私は、夢トライに就職して7年になります。数多くの出会いと別れを経験して来ました。別れは、いつも悲しく、先が不安になります。苦勞もありません。嫌な思いはありますが、不安や苦勞は人を大きくしてくれ、笑顔にしてくれるのだと感じました。夢トライを大事にしてくれる人達が居る事を忘れず、しっかりと歩んでいかなければ!!と改めて考えさせられました。

ちなみに：早川さんは、有明のパン屋さんの常連さんです♡



人生初めての赤ちゃん抱っこ

定例会議事録より

■日付および場所

日付…5月9日(土)

場所…神田公民館

出席…25名(職員を含む)

■主な内容

1、新人職員紹介

浅田さん経理担当

2、年度方針概要

①財政健全化

②福祉サービスの質的拡充

相談支援センターの設立調査を行う。

3、イベント企画

・消費生活展の判断

締め切りまでに決める(8月)

・年1回、全員が集まれる機会を事務局で作る。

7月の予定

■は休み

工房・有明

豊科

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



看板 催物会場一式請負

横断幕・垂れ幕・看板～ポスター・チラシ・チケット作成等

夢トライ工房 〒390-0805 長野県松本市清水2-11-45 電話 0263-35-3530 FAX 0263-35-3547
E-mail: yumetry@yacht.ocn.ne.jp

長野県看護研究学会	長野県民松本文化会館	日本A D / H D 学会総会	東京大学鉄門記念講堂
日本看護研究学会	松本市民芸術館	S S T 普及協会学術集会	群馬県民会館
SST 経験交流ワークショップ	一橋大学兼松講堂	松本市高齢者健康大会	松本市民芸術館
APASLSingle Topic Conference	幕張メッセ国際会議場	日本総合病院精神医学会総会	都市センターホテル (東京)
NASH 2010	グランドプリンスホテル高輪	日本精神病理・精神療学会	津田塾大学津田ホール
日本総合病院精神医学会総会	栃木県総合文化センター	日本女性骨盤底医学会学術集会	大宮ソニックシティホール

主な会場一式請負実績

D T P

今月の様子

5月はいつもの仕事が減ってしまいう時期です。しかし今年のは、つばき福祉会さんから封筒の依頼や、市役所の福祉計画課から缶バッジの注文や、地域の方からの会報のレイアウトと印刷の注文、更には無線のJ A R L 安曇野クラブから看板と横断幕の注文など、各方面から様々な注文や依頼がありました。

そんな中、一番苦労したのがパーキンソン病友の会の会報印刷です。いままでは、印刷用のデータがある程度入力された状態で入稿してくれていたのですが、今回は担当の方が替わり、データ入力がかまくいかず、原稿は揃ったものの、紙ベースの原稿が持ち込まれ、データ入力もこちらで担当することになりました。文字入力に問題のない人が文字入力を担当し、打ち込みが終わった順から即文字チェックをしていきます。文字チェックは特にN君が活躍してくれ、入力の誤字脱字はもちろん、本文のおかしな表現まで指摘して直してくれました。また、写真もプリント

アウトしたものであったので、こちらもスキャニングして印刷用に加工しました。そうしてできた文字原稿や画像データを、スタッフのIさんが一つのデータにまとめて印刷用のデータを作成します。納期も差し迫った中、大勢のスタッフが協力して作業に取り組み、なんとか予定よりも早くに冊子の印刷が完了しました。



完成した会報

また、店舗化したおかげで新しいお客様も出来ました。事務所の近所に住んでいらっしゃる方で、始めはビラのコピーを頼まれていましたが、その方が興味でやっている集いで講演会をやることになり、その会合の看板の作成を承りました。始めはコピーのお客様でも、こうした新たな仕事に繋がってくれるとありがたいです。

ふれあい農園

梅雨入り

ようやく関東甲信越地区も梅雨に入りました。4月の初旬に雨が降ってから2ヶ月近く夏のような天気が続き「雨が欲しい」と畑の大先輩たちと話していたところです。

先日6月10日に松本市林地区にある果樹園から「ブドウの最後のジベ処理をするので」と連絡が入りHさんと一緒に7時30分頃から一時間近く三回目最後のジベレリン(種なしブドウ作成)処理を行ってきました。これでブドウのメンテナンスは終わりとのことでは収穫を待つのみです。

今年、ブドウと梨の栽培を学ぶことが主体となりますが、来年は本格的に果樹園に力を分散して、きちっと果樹園での作業を農業班の仕事に



果樹園から見える北アルプス

組み入れたいと計画しています。写真は果樹園から見える北アルプスです。松本市の市街地より標高が少し高いので気温も2、3度違います。とは言っても工房から車で10分位の近さです。

農園のご夫婦は浅原さんと仰いましてお二人とも穏やかに優しい老夫婦です。帰りに一緒にお茶を戴いてきました。

農園の方は、玉ねぎ、ニンニク、ブロッコリーが収穫のピークとなっており、朝袋詰めをすると直ぐに完売してしまいます。予約も入ってきましたので、ふれあい農園のスタッフの苦労が一番報われるときです。

今年、ブドウと梨の栽培を学ぶことが主体となりますが、来年は本格的に果樹園に力を分散して、きちっと果樹園での作業を農業班の仕事に

小玉スイカは順調に生育してきて楽しみです。



小玉スイカの様子

カボチャの様子

右の写真はカボチャの様子、左は小玉スイカの立体栽培の様子です。カボチャは殆ど手が掛からないのですが、小玉スイカは、蔓直し等小まめに手を入れなければなりません。スイカの棚に小玉スイカが幾つも釣り下がっている事を願いながら手を入れていきます。

先日6月9日は、雨上りの為畑に入れなかつたので渚にある苗屋さんに行った後、綿半豊科店、コープ豊科店を回ってきました。コープ豊科店では、あんぱん等をイートインで食べていたらIさんが来てくれて「農業班の人たちとは初めてだね」と声をかけて戴きました。仕事は違っても仲間は良いですね。

有明のパン屋さん

本 店 〒 399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高 2216-1
 コープ豊科店 電話 0263-88-3307 F A X 0263-88-3318
 〒 399-8205 長野県安曇野市豊科 2637-4
 電話 0263-88-7328



夏に向けての新作パン登場！！

★レモンレアチーズパン

レモンの酸味がさわやかなクリームパンが発売されました。見た目も輪切りを乗せかわいく仕上げました。

★ウインナーフラワー

モチモチの生地とウインナーにジンジャーソースをあわせました。ジンジャーの風味が夏にぴったり。一口サイズにちぎってお食べ下さい。

	安曇野地域	松本	地域
月	安曇野市役所 11:45～	寿台養護学校	11:30～
	安曇野赤十字病院 10:50～	医療福祉専門学校	12:10～
火	大町合同庁舎 11:30～	松本市総合社会福祉センター	11:30～
	豊科病院 11:45～	看護協会	11:30～
水	穂高社会福祉協議会 11:30～		
	大町市役所 11:50～	ビジネスカレッジ	12:20～
木	穂高総合支所 11:50～	松本市社会福祉北部センター	11:30～
	安曇野庁舎 11:50～	松本市役所東庁舎1階ホール	11:30～
金	安曇野赤十字病院 11:10～	松南病院	11:30～
	大町合庁 11:30～	寿台養護学校	11:30～

※上記は、主要な外部販売先です。イベント等にも出店することが出来ますので、お気軽にお電話ください。
連絡先：電話：0263-88-3307 担当：丸山



レモンレアチーズパン



ウインナーフラワー

豊科店

暑さが日ごとに増し、まるで真夏のような気温が続いております。梅雨もそろそろ近づいてきておりますが、皆様、お元気で過ごしてでしょうか。豊科店のスタッフと職員も調理場や成形室の室温、窯の温度の暑さと戦いながらパン作りをしています(笑)。そして5月27日・・・コープのすぐ近くに綿半(スーパーセンター)がオープンしました。そのため、コープ自体もお客様がやはり少なくなり、もちろんパン屋さんでもその影響があります。ここ2～3ヶ月はこの状態が続くのではないかと言われております・・・が、しかし！そんなことを言ってもしょうがないわけにはいきません。綿半に打ち勝つためにも、パンの改良、新商品の開発、お店の雰囲気の変化など様々な工夫が必要です。なんと少しでも、お客様にまた戻ってきてもらうために、今、スタッフ、職員一同、日々試行錯誤して働いております。「パンはやっぱり有明のパン屋さんが一番」と言ってもらえるようこれからも頑張っていきたいと思いま

有明店

これからさらに暑くなると思いますので、体調には十分気を付けてお過ごしください。歴の上で、初夏を迎える季節となりました。通り去る人々の服装も変わり季節を感じられる今日この頃です。パンも同様にカテゴリーが様変わりする季節でもあります。新作パンで好評なのは、生姜焼きコッペ・オレンジデニッシュ・鶏肉バジル炒めガパオピザ・ベーコンピザ・メンチカツチーズサンド・シフォンケーキなどです。試作としては、秋田産の米粉を使ったレモン蒸しパン・塩昆布蒸しパンです。5周年の節目を迎え、スタッフ・職員一同一丸となつて、お客様の満足されるようなパン屋を、目指します。



新商品の試行錯誤中

外販部

「今は何月!？」と思う程、暑い日々が続いています。パン販売でも、なかなかパンが売れない状況が出てきました。そこで販売後、夏でも売れる様に接客方法や、パンのメニューなどを検討する外販ミーティングを始めまし



シフォンケーキ(白ごま&きなこ)



新たに外販先に加わった専門学校

た。試食のすすめ方、パンの説明方法の再確認や、どのようなパンが売れにくいのか。また買って頂くためにどうしたら良いかなど、メンバー一人一人が意見や感想を出し合っています。また同時にパン屋全体のお客様へのアンケートも配布し、より良いパン販売を目指していきます。5月には月曜日と水曜日に、専門学校への販売もスタートしました。若い人たちのパワーに負けない様、また『おなじみの』有明のパン屋さんになれる様、皆で頑張つて行きたいと思っております。夏に向けた新作パンも続々登場します。各販売先で、皆様のお越しをお待ちしております。気持ち新たに生まれ変わったパン外販を、ぜひ見に来て下さい。

グループホーム

BEING ビーイング



久々のネネちゃん登場!

貴方の時計はどのように時を刻んでいますか？
そして、貴方はどのように時を刻みたいのですか？
ひとり一人の速さで、ひとり一人の秒針の長さで時を刻める場所、それがBeイングです。
私たちBeイングができること、それは何らかの障害をもっているとしても時代の中で、社会の中で、街の中で自分らしい生活をいとなむことのできる場所と、その鍵をお渡しすることです。

大型連休も終わり、まだ5月だというのに「何だ！この暑さは!!」と思うくらい暑い日が連日続いていきます。連休の休みモードから、仕事モードへ切り替えが大変でした(笑)
そんな中、Beイングの世話人さんの藤森さんが都合により退職されたため、伊藤正史さんが新しくBeイングの世話人さんとして働いてもらっています。伊藤さんは、とても気さくな方で、入居者の皆と打ち解けあつて会話を楽しんでいます。伊藤さん、これから色々とおよろしくお願ひします。
さて入居者の皆さんはというと、連日の暑さの影響で疲れている様子も見られますが、Beイングの美味しい夕飯を食べていると元気が回復してきて、いつもの楽しい会話になります。また夕飯を食べ終わって、各々自分のやりたいことをする中、入居者のSさん、Tさん、Oさんは決まってウッドデッキに移動し、夕方の心地よい風で涼みながら、雑談するのがほぼ日課となっています(笑) 話に夢中になる余り、蚊に刺され急いで中に入るといのがお決まりです(笑) 体調管理が難しい時期に入りますが、油断せず過ぎましょう!!

コラム

青い鳥症候群

メーテルリンクの「青い鳥」という絵本をご存知の方も多いいと思います。私自身小学校の低学年で読んだ記憶があります。甘酸っぱい思い出と共に今でもその時に読んだ記憶は鮮烈に残っています。多くの童話の中でも、この「青い鳥」という絵本は、私にとっても大きな影響を与え続けている作品です。知らない方のために、ご紹介しておきます。

『むかしむかし、あるところに、まずしい二人の子どもがいました。お兄さんの名前はチルチル、妹の名前はミチルと言いました。
クリスマス前の夜のことで、二人のへやに、魔法使いのおばあさんがやってきて言いました。「わたしの孫が、今、病気でな。しあわせの青い鳥を見つければ病気はなおるんじや。どうか二人で、青い鳥を見つけてきておくれ」
「うん、わかった」チルチルとミチルは鳥カゴを持って、青い鳥を探しに旅に出ました。
チルチルとミチルがはじめ

に行った国は、『思い出の国』でした。二人はこの国で、死んだはずのおじいさんとおばあさんに出会いました。「人は死んでも、みんなが心の中

で思い出してくれたなら、いつでもあうことができるんだよ」おじいさんは、そう言い出しました。そして、チルチルとミチルに、この国に青い鳥がいることを教えてくれました。ところが、『思い出の国』を出たところ、青い鳥は黒い鳥に変わってしまいました。チルチルとミチルは、つぎに病気や戦争など、いやなものがいっぱいある『夜のご殿』に行きました。ここにも、青い鳥はいました。でも、つかまえて『夜のご殿』を出た

とたん、青い鳥はみんな死んでしまいました。それが二人は『ぜいたくのご殿』や、これから生まれてくる赤ちゃんがいる『未来の国』に行きました。どこにも青い鳥はいましたが、持ち帰ろうとすると、みんなだめになつてしまうのです。
「さあ、起きなさい。今日はクリスマスですよ」お母さんのよぶ声が聞こえました。目を覚ますと、二人は自分の部屋のベッドの中にいま

いた。青い鳥を探す旅は、終わったのです。チルチルとミチルは、とうとう青い鳥をつかまえることが出来ませんでした。でも、チルチルとミチルが、ふと鳥カゴを見ると、中に青い羽根が入っているではありませんか。
「そうか、ぼくたちの飼っていたハトが、ほんとうの青い鳥だったんだ。しあわせの青い鳥は、ぼくたちの家

にいたんだね」二人はお互いに顔を見合せて、ニッコリしました。魔法使いのおばあさんは二人に、しあわせはすぐそばにあつても、なかなか気がつかないものだ

と教えてくれたのです。『今の仕事は自分に合っていないんじゃないか?』『もっと自分の能力を生かせる仕事があるんじゃないか?』と感じ転職を繰り返す人のことを「青い鳥症候群」と言います。華やかでやりがいのある仕事に見えても、仕事として就いてみると意外と地味でかなりハードな業務だったりします。先月号でも書いた通り、「楽しい仕事」はないのです。理想と現実とのギャップを埋められずに、どの仕事でもそ

れなりの苦労があるため、理想の職場は見つからず挫折感だけが残り仕事を辞めてしまいう。鳥が自由に空を飛ぶためには何万回も羽を羽ばたかせていることを忘れてはいけません。
作家の五木寛は著書「青い鳥のゆくえ」で「できあいの幸せ(青い鳥)なんてこの世にはない。幸せは簡単には手に入らない。でも人間には青い鳥(幸せ、希望)が必要だ。だからそれを作らなければいけない・・・。」と語っています。実は、「青い鳥」というのは、今ある自分や、家族、友人、職場の同僚という環境の中で必死で懸命に生活すること、明日の自分を信じて今日を生きること、それ自体が青い鳥のように思えます。幸せや希望は探すのではなく自分の手と足で作っていくことなのだと思います。

編集後記

暑くなったり、寒くなったりと、体調管理が難しい時期となつてきましたね。梅雨が明ければ夏本番です。夏バテをしないためにも、よく食べ暑い夏に備えましょう。
(高野 雅也)